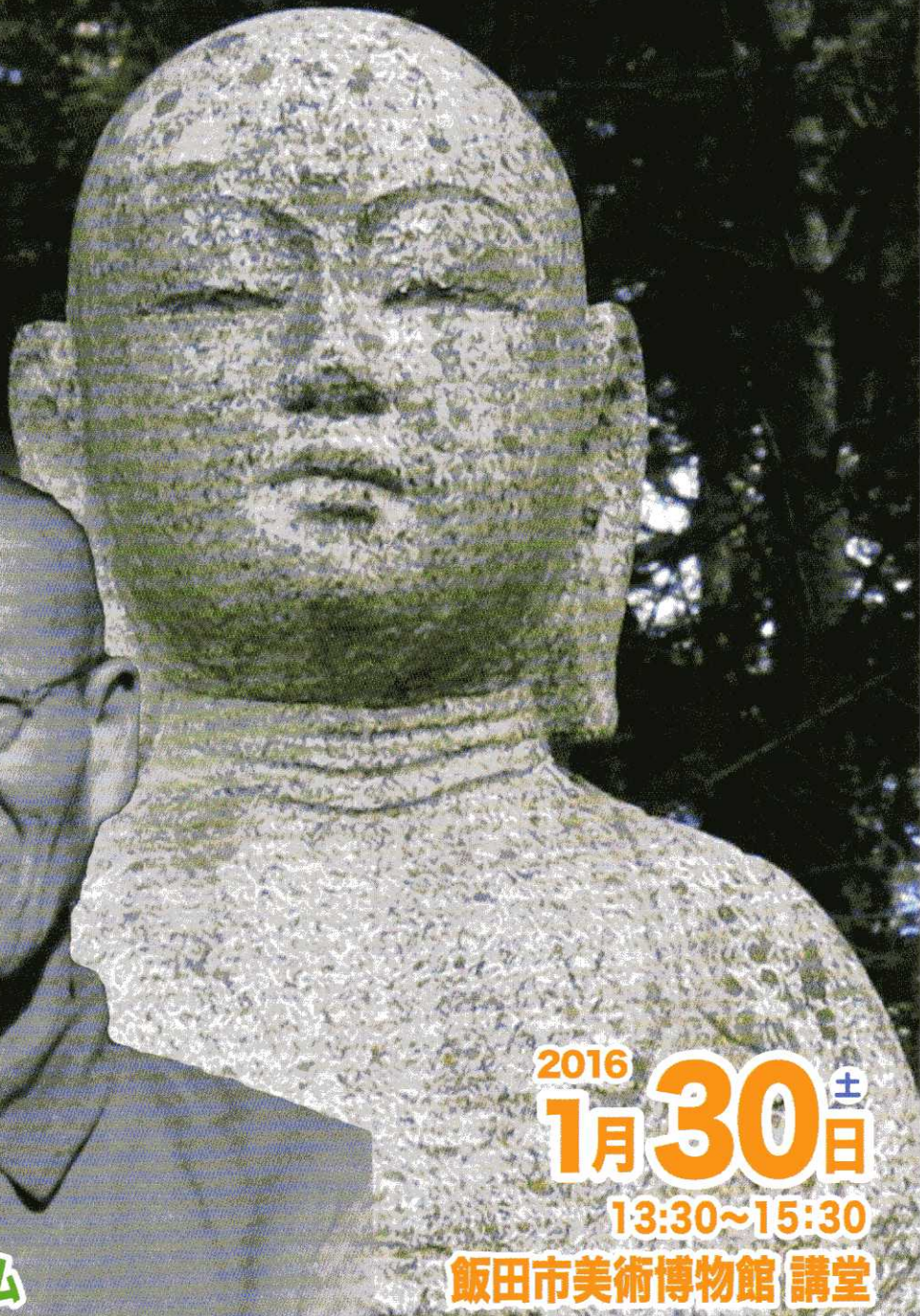


宮澤芳重没後45周年記念事業

みやざわ

よしじゅう

いま宮澤芳重



2015
11月15日

13:30~15:30

松川町民体育館トレーニングルーム

2016
1月30日

13:30~15:30

飯田市美術博物館 講堂

● 新作DVD「いま宮澤芳重」上映会 ● 記念誌発行 報告会 ● 「地蔵になった男」上映会(松川)

☎0265-36-3746 松川町図書館
FAX 0265-36-4171

申込み・問合せ

飯田市立 ☎0265-22-0706
中央図書館 FAX 0265-22-0235

主催：宮澤芳重没後45周年記念事業実行委員会 共催：飯田市教育委員会/松川町教育委員会
後援：飯田高等学校同窓会/(株)南信州新聞社/(株)飯田ケーブルテレビ/(株)チャンネル・ユー 協力：飯田高等学校

【いま 宮澤芳重】展

入場無料・申込み不要

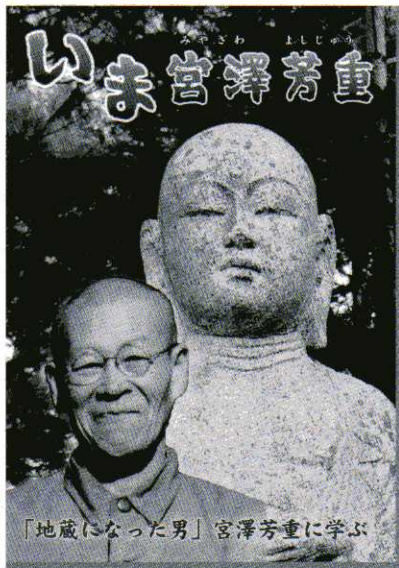
- 2015年11月12日～11月26日
- 2015年11月28日～12月24日
- 2016年1月25日～2月5日

松川町資料館
飯田市立中央図書館
飯田合同庁舎ロビー

記念事業の開催にあたり……

松川町生田出身の宮澤芳重さん。進学の夢を断たれても、勉学への情熱から郷里を離れ、72歳で亡くなるまで、故郷で若者が学ぶ機会を得られる大学設置を夢見て、東京での日雇い労働で得たお金で貴重な書物を飯田図書館へ寄贈し続けました。また、飯田高等学校へ天体望遠鏡の購入資金を送り、天文台設置に貢献されました。

2014年4月多くの方のご尽力により、宮澤芳重さんの反俗・清貧の生涯を取り上げた「地蔵になった男」(NHK TV・1973年1月5日放映)の上映と座談会が松川と飯田の2会場で開催されました。



上映後、当日の資料集と座談会での発言記録をまとめて、より多くの人々に読んでいただこうと、その記録紙『いま 宮澤芳重』を刊行し、次の世代に伝えていくためのDVD『いま 宮澤芳重』を制作しました。

宮澤芳重さんが1970(昭和45)年に逝去されて、45周年に当たる本年、その報告会と上映会を開催いたします。

多くの皆さまのご参加を、心からお待ちしております。

宮澤芳重没後 45 周年記念誌

いま 宮澤芳重 ～「地蔵になった男」宮澤芳重に学ぶ～

B5 版 200 ページ 頒布価格 1,000 円

- ◆ 座談会パネリスト(2会場計8名)による発表記録
- ◆ 参加者の皆さんの声(アンケート・発言)
- ◆ 関連資料(写真100余枚・映画台本など) ◆ 資料集1・2

*記念事業会場にて頒布いたします。

宮澤芳重氏 略歴

- 明治 31 年 (1898) 生田村長峰(現松川町)に生まれる
小学校卒業後、農業手伝い、郵便配達などをする。
- 大正 7 年 (1918) 20 歳 上京。以後、職を転々とする。
物理学校入学。天文学、数学、哲学を勉強するため、英語、ドイツ語の学習を始める。
- 昭和 14 年 (1939) 41 歳 脳卒中のため物理学校教室で倒れ入院。以後、右足、右手に障がいが残る。
- 昭和 16 年 (1941) 静養のため帰郷。生東小学校へ望遠鏡を寄贈。
- 昭和 17 年 (1942) 再び上京する(19年11月から24年5月まで帰郷)。
- 昭和 22 年 (1947) 教育基本法制定 下伊那地域の教育理想案を飯田教育事務所に提言。
台城を中心に一巡し、高校大学案を構想する。
- 昭和 24 年 (1949) 51 歳 上京。日雇い労働(日当240円=ニコヨン)の極貧生活を始める。
この収入は全て自分の学びと天文台、図書購入など、飯田大学の実現に向けて使われた。「己の欲するところ、他に施す」
- 昭和 26 年 (1951) 飯田市への図書寄贈を始める。(死ぬまでに1250冊余)
- 昭和 27 年 (1952) 屈折赤道儀の件で飯田高校訪問。 大学図書館・天文台の提案。
- 昭和 30 年 (1955) 生田村へ村立図書館を勧め図書寄贈。
- 昭和 33 年 (1958) 60 歳 飯田高校天文台組立完成。
以降、総合飯田大学創立への働きかけを行う
- 昭和 45 年 (1970) 11月27日永眠
- 昭和 47 年 (1972) 芳重地蔵建立 慰霊祭。
- 昭和 48 年 (1973) NHKドキュメンタリーにて
「地蔵になった男」放映。



宮澤氏の晩年の東京の住まい

